

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 市表彰
- 4 特集 令和5年度 市の財政状況
- 6 人事行政の運営などを公表
- 8 おくやみコーナーを開設します
12月3日(日)～9日(土)は障がい者週間
- 9 インフォメーション
- 12 フォトグラフ
- 13 図書館だより
- 14 救急協力医
- 16 裾野っ子・市長戦略最前線



祭りばやしの伝統、 堰原のしゃぎりを復活

市川 光幸さん（堰原・74歳）

伊豆島田の熊野神社で33年ぶりに伝統的な祭りばやしが復活しました。復活の立役者は、以前のしゃぎりの中心的なメンバーだった市川さんです。歴史のあるしゃぎりを後世に残したいと復活を決意し、子どもから大人まで幅広く地域の人に募集したところ、24人が集まりました。

「私の祖父の話によれば、堰原のしゃぎりは明治時代に当時の青年たちが三島のしゃぎりから指導を受けたことが起源です。戦争のさなかには中断せざるを得なかったのですが、戦後に昭和会という有志の集団が中心となり、明治の長老たちの指導を仰いで3演目を覚え、祭典や市の夏祭りなどで披露してきました。その時に私もしゃぎりを覚えました」と。脈々と受け継がれてきた伝統は、市川さんの祖父が書き残した文書にも残されています。「今年5月から練習を始めて、10月の熊野神社の秋祭りでしゃぎりを3曲披露しました。とても難しい演目もありましたが、みんな頑張ってよく覚えてくれたと思います」と感慨深い様子でした。現在も週に1回の練習には子どもたちも参加し、技術を磨いています。「この伝統が今後もこの地に根付いてくれたらうれしい」と市川さん。地域の歴史を知ることさらにしゃぎりの音色が心に響きます。



表紙 Front cover



トヨタカーボンニュートラル 出張授業

11月13日(月)に深良小学校でトヨタ自動車(株)会長豊田章男氏が、環境に関する出張授業、デモ走行や同乗体験を行いました。児童たちの目はキラキラしていました。



susonobito No.55